

【案件概要】

トロロ県聖マリア・アスンプタ・メラ・シード中高等学校における教室棟建設計画

1. 計画の概要

被供与団体	聖マリア・アスンプタ・メラ・シード中高等学校
供与額	54,764米ドル
署名者	ムカサ・ジョージ・ステファン(校長)
計画名	トロロ県聖マリア・アスンプタ・メラ・シード中高等学校における教室棟建設計画
実施地	トロロ県メラ準郡(ウガンダ東部)
供与内容	教室棟2棟, 家具
贈与契約署名日	2017年3月7日

ウガンダ東部トロロ県は隣国ケニアとの国境に位置し、ケニア・モンバサ港から首都カンパラを結ぶ国際回廊「北部回廊」上に位置しています。同県メラ準郡に所在する聖マリア・アスンプタ・メラ・シード中高等学校は、2011年に教会とコミュニティにより7人の生徒とボランティアの教員で開始され、2012年にウガンダ政府の普遍的中等教育(USE)普及の一環として当時まだ中高等学校が存在していなかった同準郡に設立された新しい政府支援中高等学校です。2016年時点で、同校には教員が27人所属し、中学1年から高校2年までの生徒678人(女子288人、男子390人)が在籍しています(当国の中高等学校は6年制)。既存の教室は4室のみですが、人口増加率が2.8%である同地では、年々増加する生徒数に施設の建設が追いついておらず、同校は慢性的な教室不足にあります。現在、最も生徒数の多い中学1年のクラスでは、1教室を150人以上が使用しており、机に座れない生徒は教室後方で立ったまま授業を受けなければならず、教師が机の間を移動するのも困難なほどです。本計画では、教室棟を2棟建設し、家具を整備することで、聖マリア・アスンプタ・メラ・シード中高等学校における学習環境が改善され生徒678人が裨益します。

2. 贈与契約署名式

2017年3月7日、在ウガンダ日本国大使館において、中村温臨時代理大使とムカサ・ジョージ・ステファン校長の間で贈与契約が署名されました。[プレスリリース\(英語\)](#)

